

# 土台ガードEX (防蟻・防湿)

## 土台ガードEX

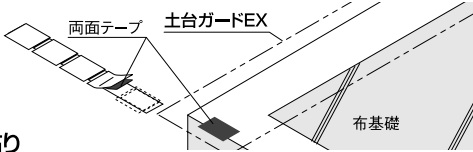
### ■設計施工時の注意



- 注意**
- 作業に際しましては、作業衣、手袋など保護具を必ず着用してください。
  - 火気のあるところでは使用しないでください。
  - 雨風の日、および基礎天端が濡れているときの施工はお控えください。両面テープの性能が十分に発揮されません。
  - 定められた用法を遵守してご使用ください。
  - この製品を長期的に使用しない場合は、性能・品質を保持するためにも、直射日光、高温高湿を避け、冷暗所で小児の手の届かない鍵のかかる場所に保管ください。
  - 万一、作業中に頭痛、目の痛み、咳、めまい、吐き気、気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、清浄な空気の中で安静にして、医師の診断を受けてください。
  - 作業終了後は、直ちに、石鹸水で手や顔をよく洗ってください。
  - 使用残材は決して野外投棄などせず、専門の廃棄業者に処理を任せてください。

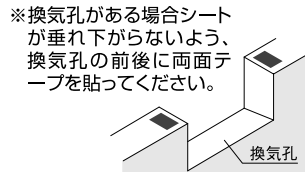
### ■施工要領

- ①基礎天端の清掃 ※基礎天端が濡れている時の施工はお控えください。  
●基礎天端の塵、ほこりを取除きます。



- ②両面テープ貼り

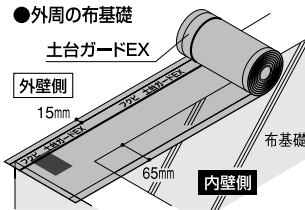
- 両面テープを土台ガードEXの貼り始め、貼り終わりに貼ります。
- その他の箇所については、ズレ・飛び防止のため、各要所に両面テープを貼ってください。



- ③「土台ガードEX」の貼付け

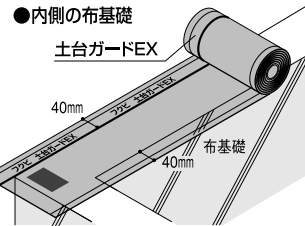
#### ●貼り始め

- ①外周の布基礎の場合、シートを15mm出して貼り始めてください。  
※土台パッキンを使用する場合、水切との間で有効換気面積(壁4m以下ごとに、面積300cm<sup>2</sup>)を確保するよう気を付けてください。
- ②内側の布基礎の場合、シートを40mm以上出して貼り始めてください。



#### ●外周の布基礎の施工

- シート上の細いラインを基礎端(外壁側)に合わせて施工してください。  
※土台パッキンを使用する場合、水切との間で有効換気面積(壁4m以下ごとに、面積300cm<sup>2</sup>)を確保するよう気を付けてください。  
※細いラインが外壁側蟻返し巾15mmの目安です。

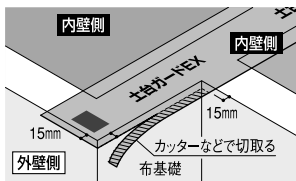


#### ●内側の布基礎の施工

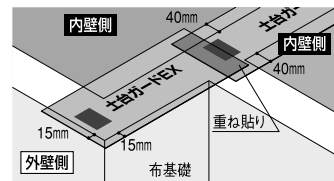
- シート上の太いラインを、基礎端に合わせて施工してください。  
※太いラインが蟻返し巾40mmの目安です。

- ④その他の施工例 (㊦または㊧)

#### ㊦シートをカットする方法

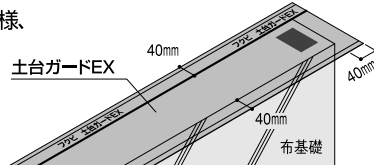


#### ㊧シートをつなぎ合わせる方法



- ⑤貼り終わり

貼り終わり部分も貼り始め同様、シートを出してください。



内壁側 約40mm  
外壁側 約15mm

### ■その他の注意事項

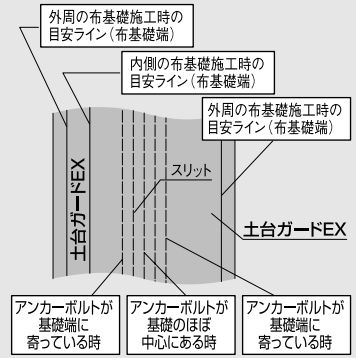
#### ■アンカーボルトの処理

アンカーボルト位置に合わせて、スリットを破ってアンカーボルトに差し込んでください。なお、スリットとアンカーボルトとの位置が合わない場合は、カッターで切り込みを入れてください。

#### ■コーナー部・つなぎ部の処理

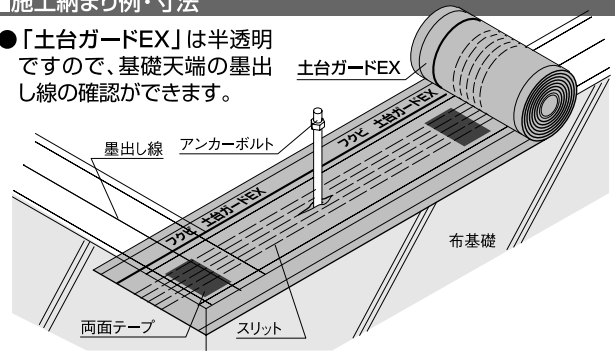
下側のシート上面に両面テープを貼り、シートを50mm以上重ね合わせてください。

- 注意** ●必ず重ね貼りをしてください。



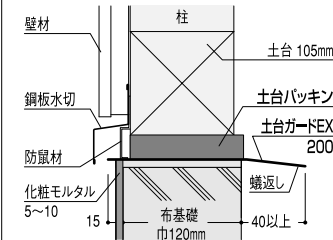
### ■施工納まり例・寸法

- 「土台ガードEX」は半透明ですので、基礎天端の墨出し線の確認ができます。

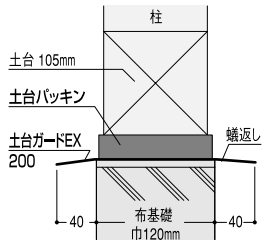


#### ●土台ガードEX200

##### 外周の布基礎

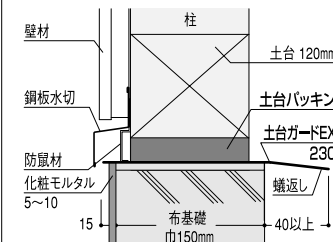


##### 内側の布基礎

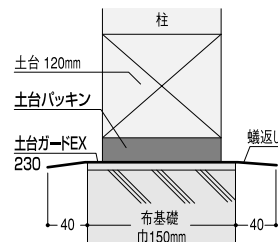


#### ●土台ガードEX230

##### 外周の布基礎



##### 内側の布基礎



※この「土台ガードEX」は、弊社製品「土台パッキン」との併用をおすすめいたします。